

1. 旧約の幕屋 : 出 40 章

外庭 聖所 至聖所

2. 新約の幕屋 : キリスト者

2-1 新約での神の宮

人は神の神殿 マタイ 26:61、1 コリント 3:16-17

体の中の霊は、至聖所 (1 コリント 6:19)、御父と御子が臨在される (ヨハネ 14:23)。

2-2 幕屋を完成されるときイエス

父と子の関係ではなく、裁く神と裁かれる人の関係。マタイ 27:46、詩篇 22

2-3 新約の幕屋の完成

神殿の幕が裂かれた時、イエスのからだも裂かれ、神と私たちとを隔てている罪が取り除かれた。(ヘブル 10:17) ⇒ 至聖所に至る生きた道が開かれ、そこで主と交わっておられる。(ヨハネ 14:23、1 ヨハネ 1:3) ⇒ イエスを信じるものはだれでも(イエスの血によって) 大胆に至聖所に入り、主に会い、その交わりに加わることができる (1 ヨハネ 1:3)。

2-4 幕屋である人の状況

幕屋の外で人は罪を犯す (1 コリント 6:18)。また、外庭はとても騒がしいが、至聖所は静かで穏やか。⇒クリスチャンのあるべき姿。

2-5 注意点

会見の場では自分の火をおこしてはならない (レビ 10:1)。至聖所は神の光のみ! 主はやみの中におられる。詩篇 18:9、11、15-16、30、出 14:20。自分の光はともせない。。自分の光⇒自分の栄光、自分の力でともそうとする。主との交わりの妨げ。cf パリサイ人と取税人の祈り ルカ 18:10-14